



『本には読む順番がある』 齋藤 孝/著  
クロスメディア・パブリッシング 019.1サ

あることに興味を持って本を読んだものの、内容が難しく挫折したことや、理解が及ばなかったことは誰も経験があると思います。本書は、そうならないよう初心者の読むべき本、中級者の読むべき本、上級者の挑戦すべき本の3段階に分け、順に理解しようというものです。読書の道しるべとして手に取ってみてはいかがでしょうか。



『伝える仕事』 池上 彰/著 講談社 070.1イ



NHKの記者や子ども向けニュースの解説などを経験した著者は、どのような伝え方の工夫をしてきたのでしょうか。この本ではそれぞれの現場での試行錯誤が、彼の口調さながらわかりやすくまとめられています。

伝えたいことを書く、話す、まとめる等、誰もが常日頃行っていることからこそ自分らしさを加えたいくなります。そのためのヒントをぜひ見つけてください。



『へいわとせんそう』  
たにかわ しゅんたろう/ぶん Noritake/え  
ブロンズ新社 Eタ

「へいわ」と「せんそう」の様子が、短い言葉とシンプルな絵でわかりやすく表現されています。最後のページの2人のあかちゃんが、共に健やかに成長するよう願わずにはられません。平和について考えるきっかけを与えてくれる1冊です。

【絵本室にあります】

『すばる望遠鏡の宇宙』

海部 宣男/著 宮下 曉彦/写真 岩波書店 440カ



世界最大級の規模を誇る国立天文台ハワイ観測所の「すばる」望遠鏡。

比較的「近い」1500光年のオリオン星雲から250万光年離れたアンドロメダ銀河、そして人類未踏の128億光年の銀河まで。鮮やかに映し出された遙か彼方を豊富なカラー写真で楽しむことができます。



『旅の絵本』 安野 光雅/著 福音館書店 Eア

青い服を着た男が馬に乗って旅をします。各国の美しい風景の中に、歴史上の人物や映画のワンシーン、物語の登場人物が描かれます。作者の安野光雅さんはかくし絵の達人！ ページをめくる毎に新たな発見があるはず。これからの人生もこの絵本のように、驚きと発見がたくさんありますように。

【絵本室にあります】



『あしたのあたしはあたらしいあたし』

石津 ちひろ/詩 大橋 歩/絵 理論社 911.5イ



ことば遊びが得意な作家の詩集です。なにげなく過ごしていると見落としてしまうようなものたちへのふとした気づきが、素朴でやさしいことばで綴られています。軽快な語感を楽しみながら、日常のささやかなものたちへ目を向けるきっかけにしてください。表題作は短い詩なので、覚えて唱えると元気がもらえます。



『何者かになりたい』

熊代 亨/著 イースト・プレス 141.9ク



いまの自分に満足せず、何者かになりたい人がとても多い。では「何者」とは何か。何者になるためにはどうすればよいのか。これからの人生を切り開くためにどんな問題があるのか。何者かになるために考えなければならないこと、知っておくこととは。精神科医である著者がそのヒントを教えてください。

『旅するために生きている』

片淵 ゆり/著 KADOKAWA 290.9カ



海の向こうが少し遠くなった現在、フォトエッセイで海を渡ってみませんか？ 旅を愛する著者が20代での旅に思いを巡らせながら、これからの旅に焦がれる気持ちを綴っています。鮮やかで優しい色合いの写真と等身大の文章で、まるでカフェでゆったり友達の土産話を聞いているかのように気軽に読める本です。

『ウチら棺桶まで永遠のランウェイ』

kemio/著 KADOKAWA 767.8ケ



高校時代に動画共有アプリ・Vineで注目を集め、その後活動の拠点をアメリカへ。現在はYouTube・モデルなどでマルチに活躍するkemioのありのままが語られた1冊です。日々を過ごしていく上で大切にしたいkemioからのエールがたくさん詰まっています。皆さんの人生のランウェイを支えてくれる言葉の数々。ぜひ楽しんでみてください。



『君になりたい』

穂村 弘/編 後藤 貴志/絵 岩崎書店 911ホ

平安時代の昔から短歌はラブレターとして詠まれてきました。本書には、与謝野晶子や東直子ら古今の歌人による「恋」の短歌が14首収録されています。1首ごとにイラストも添えられているので、歌と共に楽しめます。「めくってびっくり短歌絵本」というシリーズ名で他4冊ありますので、そちらもご覧ください。

【児童室にあります】

『僕たちが何者でもなかった頃の話しよう』

山中 伸弥・羽生 善治・是枝 裕和・山極 壽一・永田 和宏/著 文藝春秋 281ホ



この本にはiPS細胞研究者の山中伸弥さん、将棋棋士の羽生善治さんなど、名だたる偉人を招いた講演会の内容が綴られています。彼らが何者でもなかった頃、そこには当然悩みや失敗、挫折がありました。彼らは如何にしてそれをバネにしたのか。偉人たちの等身大の言葉が、これから挑戦を重ねる皆さんへのエールとなることでしょう。